

ネットが無いネット型ゲーム ～UD化されたゲーム ビッグボール～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

今年の2月は、九州体育研究会という出来立てほやほやの研究会に参加してきました。その際、琉球大学附属小学校の大城潤喜先生が、キンボールを小さくして教材化したビッグボールの実践を発表されていました。私は聴きながら、「どの子も間違いなく夢中になれる」と感じたので、ボールを購入し、高瀬小学校の全学年で実施してみました。

ちなみに、これまでのネット型ゲームの困りは

＜ネット型ゲームの困り：子ども＞

- ①どう動いて良いのかわからない
- ②ボールの操作が難しい
- ③ミスした人が目立つ
(即失点となり、みんなに迷惑をかける)

＜ネット型ゲームの困り：授業者＞

- ①コートをたくさん作らないと、子どもたちの待機時間が増えてしまう
- ②コートの準備に時間がかかる
- ③ラリーが続かないと、ゲームの面白さを味わわせることができない (技能差をどうするか)

これらの困りを解消しそうなのが、大城先生が開発したビッグボール。

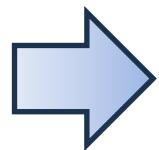
<ビッグボールについて>

ルールはキンボールとほぼ同じ。ボールは通販サイトのビーチボールで一番大きいものを使用。

キンボールの
公式ルールはこちら



キンボールの公式ボールは直径 122cm



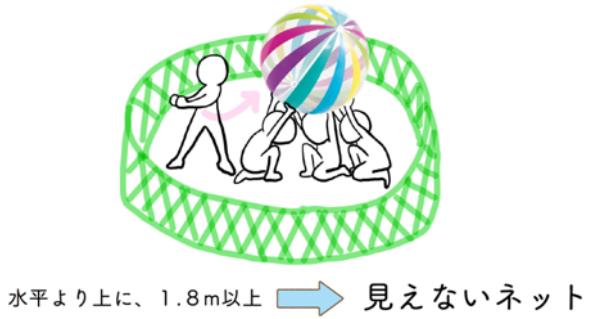
ビッグボールは直径 75cm

はじめのルール

水平より上に、1.8m以上



ネット型として授業づくり



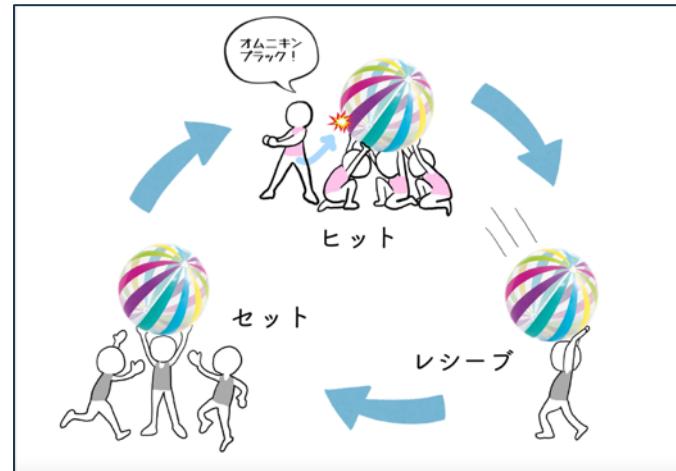
水平より上に、1.8m以上 → 見えないネット

オムニキン
ブレイブ!

ヒット

セット

レシーブ



引用：大城潤喜『3年ビッグボール～ネットが無いネット型ゲーム』
2025.2 九州体育研究会

まず、教具（ボール）が子どもに人気



本校は昼休みに体育館を解放していますが、ビッグボールで遊んでいる子が必ず複数います。（ドッジボール、サッカーに負けていません）

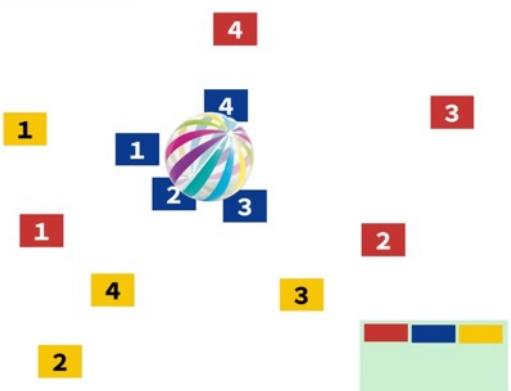


授業で子どもたちから出た技能と作戦

ボール操作	その他
<ul style="list-style-type: none">両手打ち&片手打ち両手レシーブボールの周りを動いて打ちボールの下に潜り込んで後ろ打ち両手レシーブ	<ul style="list-style-type: none">早く攻める打つ人を騙す（チームでフェイント）ボールと打つ人が一緒に回る
ボールを持たない時の動き	
<ul style="list-style-type: none">ボールの周りをみんなで囲む素早くボールに集まる空いたスペースを作らない守りのフェイント (わざとスペースを開けてそこに打たせる)	<p>思考が活性化する教材です。</p>



ビッグボール作せんボード



一人ひとり、タブレット端末に送られた作戦ボードをもとに、仲間へ思ったことを伝える子どもたち。



低学年なりの作戦や、高学年しか思いつかないような作戦など、いろいろ出てきました。



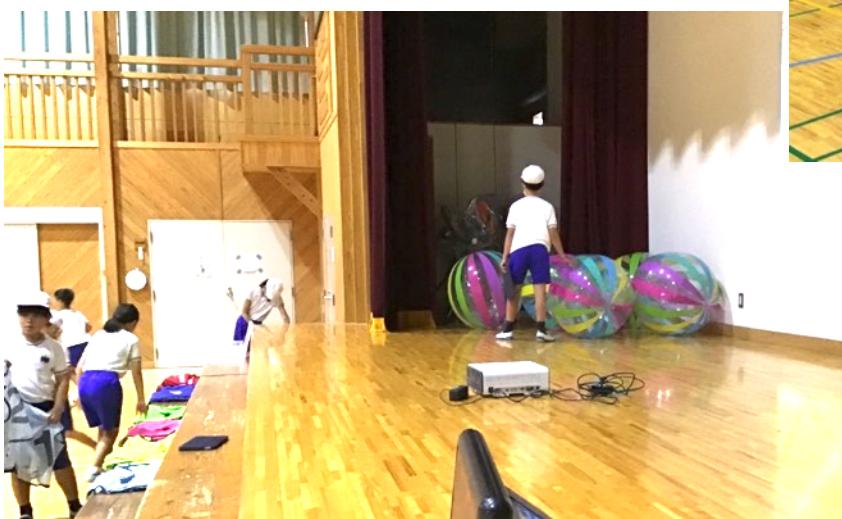
技能差に関わらずみんなでプレイできます



ナイスキャッチ!



授業の参加者数に左右されず楽しめます。



ボールが大きいので保管場所はステージの端にしています。

とても優れた教材でした。興味ある方がいらっしゃいましたら、いつでも高瀬小学校までご連絡ください。